



学習だより 第5号

令和2年11月17日 学習部

<12月の学習に関する日程>

1日(火)~4日(金)	期末テスト
4日(金)	授業・学校評価アンケート
10日(木)	オリパラシンポジウム

※ 予定は変更される場合もあります



<今月の話>

こんにちは。学習部の小太刀です。久しぶりの学習だよりになりました。みなさん、毎日どんな学びをしていますか？

学習だより4号の中で、学びとは「**私たちが過ごしているすべての時間**」に存在し、「**自分自身に必要なもの、足りないものを自覚し、埋めていくこと**」と考えてはどうかという話をしました。覚えていますか？この2学期、みなさんは十分に「学び」ができていますか？

現状維持では後退するばかりである。

これはウォルト・ディズニー（1901-1966 映画監督・ミッキーマウスの生みの親）の言葉です。私はこの言葉が大好きです。「現状維持」と聞くと決して悪いイメージはないかもしれませんが、しかし、周りは変わっているかもしれません、時代は変わっていくものです。だからこそ、私たちは常に学び続けることで自分自身を現状維持ではなく、前進させなければいけないのではないのでしょうか。

今高生には、日々の「学び」を通し、昨日よりも今日、今日よりも明日と前進し、自分自身を成長させ続けられる人になって欲しいです。

●1・2年次

12月1日（火）から期末テストが始まります。

1・2年生の**中間テスト**の結果を見て、とても驚きました。

赤点を取っている人があまりにも多い！！

これはどういうことなのでしょうか？

定期テストに向けて勉強はきちんとしていますか？

ここで確認です。

学期の成績で欠点（30点未満）になる = 進級が危うくなる

ということを忘れてはいけません。

ここが中学とは違うところですね。でも、単純なこと！勉強をきちんとして赤点を取らなければいいだけです。また、1年後、2年後に進学や就職で推薦を狙っているのならば、定期テストはどの教科も最低60点以上は取ってほしいですね。つまり各教科平均点以上くらいということです。

さあ、期末テストまで2週間！

どんな計画を立て、どんな勉強をしますか？

わからない問題などがあったらどうしますか？

授業の内容を忘れてしまっていたらどうしますか？



私は「こうしなさい」とは言いません。一人一人考えてみましょう！

●3年次

<一般受験を控えている生徒へ>

勉強は順調ですか？

あれもこれもやらなきゃと焦っている人も少なくないかもしれませんね。
そんなタイミングで期末テストが来る・・・どうしたらいいでしょう？

期末試験の範囲 = 一般入試の範囲の一部

と考えることが大切です。

「期末テストの勉強を最大限一般入試につなげる！！」

昨年、担任をしていたある生徒とこんな会話をしたのを覚えています。

↓

私 「定期テストと受験勉強はまったく別ものなんて思ってはダメだよ。
定期テストの範囲になってるところは一般入試にも出るんだから。」

生徒 「大丈夫ですよ、わかっています。今回、日本史のテスト範囲が近世の
ところなので、(定期テストまでの)この2週間は近世に集中して
勉強することに決めました。近世を完璧にします！！」

私 「そうだね、その考え方で良いと思うよ。定期テストでも高得点取れ
るし、次の模試にもつながるね。」

生徒 「ですね。この前の模試で近世のところの点数が低かったのでちょう
どいいです！」

私 「そうだね、頑張れ！」

ここでの例は日本史ですが、他の教科についても同じことは言えますね。

英語ではワードマイスターやエンゲージが範囲になりますが、その範囲になった
ところをマスターすれば、その分、一般受験の力にもつながるのです。

何事もポジティブに！頑張れ、今高生！

<すでに合格や内定をいただいた生徒へ>

合格または内定後、どのような生活を送っていますか？

違う言い方をすれば、「合格・内定をいただいた後も「学び」を続けていますか？」

合格や内定 ≠ 学びの終了

合格や内定をいただいたからといって、学びを終えてはいけないということです。

「私たちは学び続けることでさらに成長できる！」

私には忘れられないある生徒がいます。もう10年以上前のことです。こんな会話が
ありました。

↓

(放課後、教室で何かをととても真剣に読んでいる生徒を発見・・・)

私 「何読んでるの？」

生徒 「たまごクラブとひよこクラブです。」

※ たまごクラブ・・・主に妊婦さんやその家族が読む雑誌

ひよこクラブ・・・主に出産された方やその家族が読む雑誌

私 「え！？ なんて??」

生徒 「先生、私、指定校で〇〇短大の幼児教育科に合格したじゃないですか。

それで入学までに少しでも保育について勉強しようと思ったんです。私は
保育士になりたいから0歳児から預かることになるので・・・妊婦さんの気
持ちとか出産したばかりのお母さんの気持ちとか抱えている問題なども知
っておきたいと思って読むことにしたんです。」

私 「とてもいいことだね。きっと短大でもいいスタート切れるよ。」

この生徒はお姉さんに雑誌を買ってきてもらい毎月読んでいると話していました。
合格後も将来に向けて学びを続けていた印象深い生徒の一人です。彼女は今、保育士
になり多くの子どもたちを育てています。

この話を読んで、何か感じることはありますか。